

プロジェクト	「見積りの不確実性の発生要因」及び「関連する会計基準等の定めが明らかでない場合に採用した会計処理の原則及び手続」に関する開示
項目	本日の審議事項

本資料は、第 409 回企業会計基準委員会（2019 年 5 月 28 日開催）における資料と同一の内容である。

## 「見積りの不確実性の発生要因」に関する開示

### （これまでの経緯）

1. 第 397 回企業会計基準委員会（2018 年 11 月 29 日開催）において、基準諮問会議より企業会計基準委員会（ASBJ）に対して、「見積りの不確実性の発生要因」に関する注記情報の充実を ASBJ の新規テーマとする提言がなされた。これを受けて、第 398 回企業会計基準委員会（2018 年 12 月 13 日開催）において、「見積りの不確実性の発生要因」に関する注記情報の充実を ASBJ の新規テーマとし、本件の詳細な検討をディスクロージャー専門委員会にて行うことが決定された。
2. その後、ディスクロージャー専門委員会において、次のとおり検討を行っている。

専門委員会
第 20 回（2019 年 1 月 28 日開催）
第 21 回（2019 年 2 月 27 日開催）
第 22 回（2019 年 3 月 25 日開催）
第 23 回（2019 年 4 月 24 日開催）
第 24 回（2019 年 5 月 27 日開催）

### （本日の審議事項）

3. 本日は、審議事項(1)-2に基づき、次の論点について審議を行う。
  - (1) 開示目的
  - (2) 基本的な考え方
  - (3) 開示の対象範囲
  - (4) 開示対象項目の識別
  - (5) 注記事項

**「関連する会計基準等の定めが明らかでない場合に採用した会計処理の原則及び手続」に関する開示**

**(これまでの経緯)**

4. 第 397 回企業会計基準委員会（2018 年 11 月 29 日開催）において、基準諮問会議より ASBJ に対して、「関連する会計基準等の定めが明らかでない場合に採用した会計処理の原則及び手続」に関する注記情報の充実を ASBJ の新規テーマとする提言がなされた。これを受けて、第 398 回企業会計基準委員会（2018 年 12 月 13 日開催）において、「関連する会計基準等の定めが明らかでない場合に採用した会計処理の原則及び手続」に関する注記情報の充実を ASBJ の新規テーマとし、本件の詳細な検討をディスクロージャー専門委員会にて行うことが決定された。
5. 第 20 回ディスクロージャー専門委員会（2019 年 1 月 28 日開催）及び第 402 回企業会計基準委員会（2019 年 2 月 6 日開催）では、会計基準の開発方針について議論が行われた。その際、関連する会計基準等の定めが明らかであるか否かにかかわらず、会計方針の開示における重要性の判断基準及び注記事項に関する詳細を会計基準に記述しないという ASBJ 事務局の提案に対し、大きな異論は聞かれなかった。
6. その後、ディスクロージャー専門委員会において、次のとおり検討を行っている。

<b>専門委員会</b>
第 21 回（2019 年 2 月 27 日開催）
第 22 回（2019 年 3 月 25 日開催）
第 23 回（2019 年 4 月 24 日開催）
第 24 回（2019 年 5 月 27 日開催）

**(本日の審議事項)**

7. 本日は、審議事項(1)-3に基づき、次の論点について審議を行う。
  - (1) 会計基準の開発方針
  - (2) 開示目的
  - (3) 重要な会計方針に関する注記

以 上